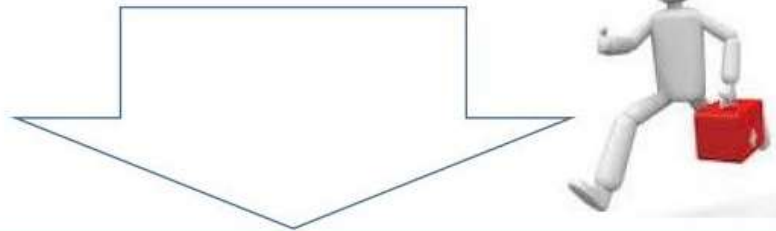
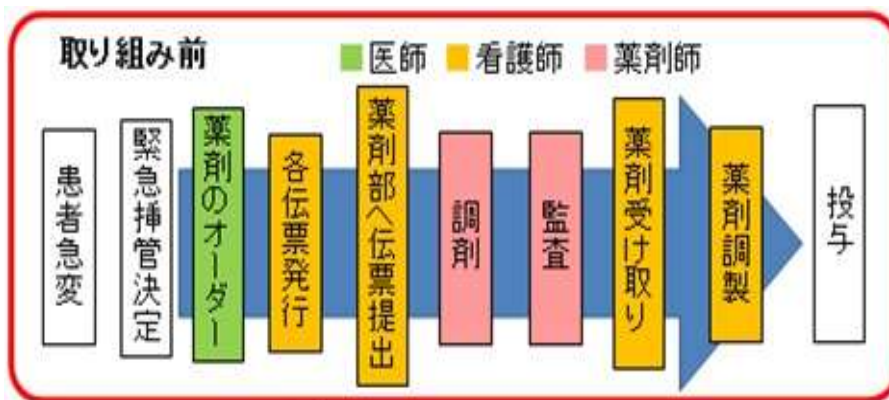


緊急挿管が必要となった場合、医師による**薬剤の処方**、**薬剤部での薬剤準備**、現場への**薬剤搬送**までに時間や労力がかかっていました…



## あらかじめ

挿管時に必要な薬剤を1つのBOXにまとめることで、現場へのスムーズな搬送が可能となりました。



### 律速要因

- ・緊急時のオーダーの煩雑さ
- ・看護師の人手不足
- ・緊急現場スタッフと薬剤師の意識差によるタイムロス



(表1)【薬剤リスト】

麻薬	フェンタニル0.1mg	1A	フェンタニル0.5mg	1A	ケタミン200mg	1B
肉痛抑制薬	ミダゾラム10mg	6A				
麻薬	ロウロニウム30mg	2B				
その他	スチマテックス200mg	4B	プロポフォール1000mg	1B	プロポフォール1000mg	1A
	生薬50mL	2A	生薬50mL	1B		

【実態調査】期間:2019年1月~4月  
(1)払い出し件数:69件 (2)薬剤使用件数:37件

## 運用開始までの取り組み

2018年

9月 多職種チーム発足

- ・救急集中治療部医師1名、
- ・救急救命センター看護師3名
- ・薬剤師3名

薬剤選定  
(表1)

搬送用BOX  
の検討(図1)

管理方法の  
構築

各部署への広報

シミュレーションの実施

11月 プレ運用開始

チームメンバー以外のスタッフ  
によるデモンストレーション

マニュアル作成

安全管理への運用許可申請

2019年

1月 本運用開始

3月 ERでの薬剤管理訓練開始  
一部スタッフ(右写真)  
・薬剤調製 ・伝票処理 など

